

東小だより

やさしく かしこく たくましい 東っ子

第9号

桐生市立東小学校

令和3年7月13日

(文責 鈴木 智行)

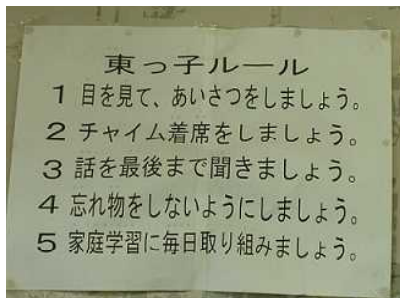
生活の基本を見直そう

～ 時間 あいさつ あと片付け ～



夏休みまで残すところ、あと1週間。学校においては、学期の締めくくりに当たり、改めて生活の基本を見直しているところです。

これまで、「朝の会に間に合うよう遊びを切り上げる（時間）」「上履き、下履きをきちんとしまう（あと片付け）」について重点的に声かけをしてきました。児童は少しずつ意識できるようになり、自分たちで行動できる姿が多く見られるようになっていきます。



7月は、「東っ子ルール 『1 目を見て、あいさつをしましょう。』」を踏まえ、「授業開始・終わりのあいさつ（礼）をしっかりと行う」ことに重点を置いています。元気よくあいさつする声が、職員室まで聞こえてくる学級もあります。

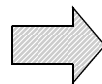
授業前のあいさつや礼は、休み時間と授業のけじめをつけたり気持ちを切り替えたりするものであり、「集中して授業に臨むぞ！」という心構えを作るための大切な行為です。

「形」を整えることで心構えが作られ、程よい緊張感の中、授業をスタートさせることができると思います。

6年生では、より丁寧な礼とされる「分離礼（言葉と動作を分けるあいさつ）」を行っています。



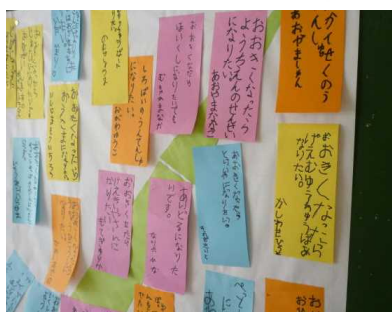
「お願いします。」



（礼）

「時間・あいさつ・あと片付け」は生活習慣の基本であり、この土台がしっかりと固まることで、その上に大きなものを積み重ねていくことができます。これらがしっかりと身に付くよう、引き続き全校で取り組んでいきます。

短冊に込めた願い



<1年生も頑張って書きました>

七夕のお祭りにちなんで、短冊に将来の夢や目標、願い等を書き、広廊下に全校分を掲示しました。短冊には、勉強について、友達関係について、なりたい職業について、今頑張っているスポーツについて、コロナの収束について等々、一人一人の思いが詰まっています。児童には、思いをかなえるために今の自分に何ができるか、しっかりと考えて過ごしてほしいと思っています。

